

市長記者発表

(令和5年度行政組織の改正について)

- 1 「市民が真ん中」の政策実現に向けた機能強化
- 2 「新しい風」を確かなものにするための機能強化)

令和5年2月10日

はじめに

本日は、令和5年度行政組織の改正について発表をさせていただきます。

私が、市民の皆様方から今治市の舵取りを託されて、早いもので、間もなく2年が経過いたします。1期4年の折り返しを迎える訳でございます。3年目を迎える令和5年度は、「市民が真ん中」を基本理念に掲げ鋭意取組を進めております。様々なマニフェストの実現に向けて、助走段階から推進段階へと、さらに加速する必要があります。

その推進母体となる今治市の組織体制につきましては、昨年、大幅な機構改革を行ったところでございますが、この1年間の各部局における施策や事業の推進状況を総合的に勘案するなかで、見直すべきところ、

強化すべきところを洗い出し、今後の2年間の政策実現を見据えた組織体制へとアップデートすることといたしました。

今回の組織改正は、大きく2つに分類しております。まず1つ目は、「市民が真ん中」の政策実現に向けた機能強化、そして2つ目が吹き始めた「新しい風」を確かなものにするための機能強化でございます。

1 「市民が真ん中」の政策実現に向けた機能強化

それでは、1つ目の「市民が真ん中」の政策展開に向けた機能強化に関する部分から説明いたします。

まず、1番「地域振興部」の設置でございます。様々な地域課題に総合的な視野で対処していくため、「地域振興部」を新設いたします。総合政策部にあった地域振興局を「地域政策局」に改称し、「しまなみ振興局」とともに「地域振興部」に移管します。

次に、2番「防災安全局」の設置でございます。大規模・広域的災害に備え、広域的な連携による防災体制の構築を目指し、さらなる防災体制の強化を図ることとし、地域振興部に「防災安全局」を設置します。

次に、3番「合併20周年記念事業課」の設置でございます。本市は平成17年1月16日に12の市町村が合併して誕生いたしました。私がよく言う12の家族が一つになった大今治家の誕生でございます。いよいよ2

年後の令和 7 年 1 月に合併 20 周年を迎えます。これまでの 20 年の成果や課題を検証しつつ、今治市のその先の 20 年後の「あるべき姿」を市民の皆様と共に描き、未来への 1 歩を力強く踏み出すため、地域振興部に「合併 20 周年記念事業課」を新設し、さまざまな準備に着手いたします。

次に、4 番「魅力都市創生課」の設置でございます。まちなか再生、中心市街地の活性化に本格的に取り組むため、「魅力都市創生課」を総合政策部に新設いたします。

次に、5 番「DX 推進室」の設置でございます。今治市におけるデジタル・トランスフォーメーションを一層加速するため、「DX 推進室」を未来デジタル課に設置します。

次に、6 番「ネウボラ拠点施設推進室」の設置でございます。今治版ネウボラの核となる拠点施設の整備に向け、「ネウボラ拠点施設推進室」をネウボラ政策課に設置いたします。

次に、7 番「教育政策室」の設置でございます。子どもの学力・体力の一層の向上、学校現場における ICT 活用の推進、小中一貫教育を含めた学校の適正配置等の問題に取り組むため、教育大綱推進課に「教育政策室」を設置します。

2 「新しい風」を確かなものにするための機能強化

続きまして、2つ目の「新しい風」を確かなものにするための機能強化についてでございます。

まず、1番「交流振興局」の移管でございます。観光・スポーツ・文化などの地域資源を活用した交流人口の拡大に加え、まちづくりや地域活性化など、幅広い視点で各種計画や各部局との連携・調整を図るため、「交流振興局」を総合政策部に移管します。

次に、2番「サイクルシティ推進課」の設置でございます。ナショナルサイクルルートにも認定され、多くのサイクリストの憧れの地となっている「しまなみ海道」の効果を今治市全域に波及させるため、また、多種多様な自転車政策を一体的に推進し、今治を名実ともに「自転車の街」に進化させていくため、「サイクルシティ推進課」を総合政策部に設置します。

次に、3番「行政マネジメント室」の設置でございます。経営戦略の視点から行政資源の総合的かつ統括的な企画・管理・活用を図るため、総務部総務管財課の「公有財産活用室」、人事課の「行政経営室」を統合し、「行政マネジメント室」を総務調整課に設置します。

次に、4番「交通戦略室」の設置でございます。離島航路やバス交通、新たな交通システムの運用など、交通政策全般の強化を図るため、「交通戦略室」を地域振興課に設置します。

次に、5番「移住定住政策室」の設置でございます。ご案内のとおり、先月、2023年宝島社の「住みたい田舎ベストランキング（人口10～20万人）」で全4部門1位という評価をいただいております。この評価に甘んずることなく、「住みたいまち・住んでいて良かったまち今治」であり続けるため、地域振興課に「移住定住政策室」を設置し、伴走型のサポートや、きめ細かな移住・定住支援をさらに充実・強化してまいります。

最後に、6番「共生社会推進室」の設置でございます。個人の多様性が尊重され、誰もが自分らしく活躍できる共生社会を目指して、「共生社会推進室」を市民参画課に設置します。また、これにも関連いたしますが、4月から今治市において「パートナーシップ宣誓制度」を導入したいと考えております。

以上の組織改正により、市民の皆様の負託にしっかりと応じることができ、「新しい風」を確かなものとする、そうした組織が実現できるものと考えております。

以上でございます。